

YAMAMOTO YUZO



心に太陽を持つ
心に太陽を持つ
あらしが吹くとき、
ふぶきが吹くとき、
天には黒くも、
地には草が生えなかりと、
いつも心に太陽を持つ。

三鷹市山本有三記念館企画展

心に太陽を持つ

今、胸に響く有三の言葉

2012年

3月3日 (SAT) ~ 9月12日 (WED)

開館時間：午前9時30分～午後5時

休館日：月曜日 ※月曜日が休日の場合は開館 / 5月1・2日、7月17・18日は休館

入館料：一般300円(20名以上の団体200円)

※中学生以下、障害者手帳持参の方とその介助者、校外学習の高校生以下と引率教諭は無料。

主催：三鷹市・公益財団法人三鷹市芸術文化振興財団

協力：成城大学図書館



YAMAMOTO YUZO 心に太陽を持って

戦争が迫る昭和10年、有三は「勇気を失うな。くちびるに歌を持て。心に太陽を持て。」と子どもたちに呼びかけました。

そして『心に太陽を持って』が出版されてから77年一。

昨年3月に起きた震災は、私たちの物心両面に大きな爪跡を残しました。復興までの道のりが見通せない中、再びこの言葉が各所で取り上げられているのは、前向きに生きようというメッセージを、時代を超えて届けてくれるからではないでしょうか。

有三作品には困難を乗り越えて成長していく主人公がくり返し描かれています。有三は前向きに生きることの大切さを説き続けた作家であり、その作品はまさに「向日性の文学」と言うことができるでしょう。本展では「心に太陽を持って」「生きとし生けるもの」「路傍の石」などの作品から、強く語りかけてくる有三の言葉を紹介します。将来への希望を持ち難い時代と言われる今こそ、胸に響く有三からのメッセージ。展示をご覧いただいた皆さんの心に、少しでも希望の灯をともすことができれば幸いです。

今、胸に響く有三の言葉

関連講演会「山本有三の光と影」

日 時：2012年3月24日(土)
午後2時～3時30分

会 場：三鷹産業プラザ7階会議室
東京都三鷹市下連雀3-38-4

講 師：池内 紀(ドイツ文学者、エッセイスト)

定 員：70名 参加費無料

募集方法：往復はがきに住所、氏名、電話番号、人数、返信用はがきにも宛先をご記入の上、
三鷹市山本有三記念館「講演会係」までお送りください。
※はがき1枚につき2名様までお申込み可。お1人様1応募限り。
応募多数の場合は抽選となります。

応募締切：2012年3月9日(金) 当日消印有効

ボランティアガイド

土・日・祝日の午後1時～4時に解説を行っています。
事前申込は不要ですので、お気軽に声をおかけください。



【電 車】

JR中央線「三鷹駅」南口より徒歩12分

JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」南口(公園口)より徒歩20分

【バ ス】

三鷹駅南口よりみたかシティバス「むらさき橋」下車徒歩2分

吉祥寺駅南口より小田急バス「万助橋」下車徒歩5分

三鷹市山本有三記念館

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀2-12-27

電話：0422-42-6233 ホームページ：<http://mitaka.jpn.org/yuzo/>